

都市計画道路の見直しについて（参考資料）

都市計画道路は、都市計画法にもとづいて計画される道路で、都市計画やまちづくりの根幹をなすものです。
道路のつながりに関する機能や景観や防災などといった道路空間としての機能などに配慮しながら計画され、順次整備が進められています。

計画された道路の中には、長期間にわたって整備が進んでいない道路があります。
こうした道路では、計画された当時と現在とでは社会経済情勢が大きく変化しているため、
道路の必要性自体が変化している可能性があります。

また、都市計画道路の整備予定地で建物を建てる場合には、「木造などでかつ3階建て以下の建築物しか建てられない」といった制限がかかるため、
地域の活性化を阻害するといった懸念があります。

このため、箕面市は整備が進んでいない都市計画道路の見直しを考えています。

見直しに当たっては交通や防災、景観など様々な視点から十分に検討してどうやって見直すのかを決める必要があります。

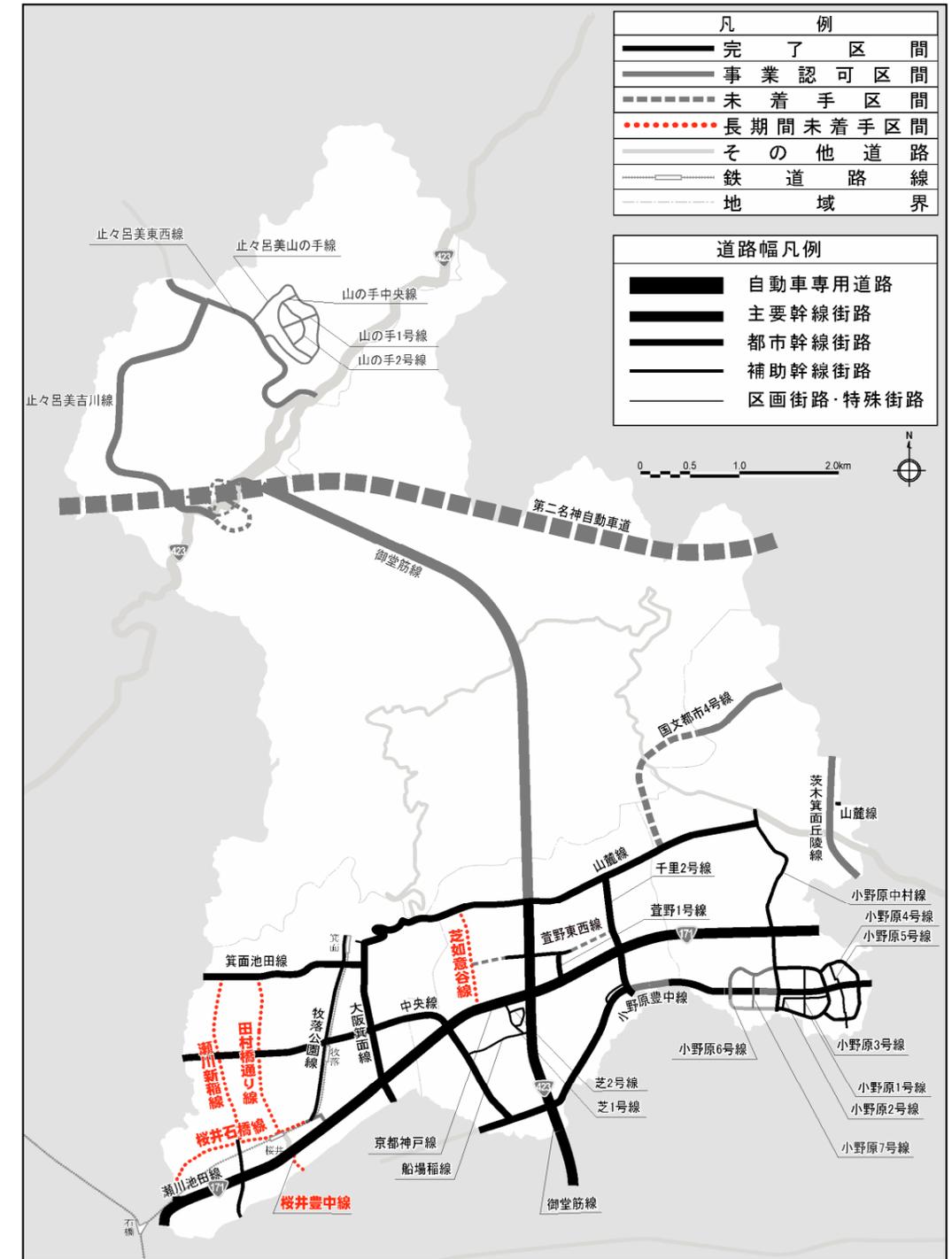
箕面市では市民、学識経験者、市議会議員などで構成される箕面市都市計画審議会にどうやって見直すべきかを問いかけ、その答えをふまえて見直しを進めようとしています。

これをうけて、都市計画審議会ではどうやって見直すのかについて「箕面市都市計画道路見直しの基本的指針（都市計画審議会素案）」（以下「素案」といいます）としてまとめました。

この「素案」について、広く市民の皆様からご意見を募集（パブリックコメント）します。

箕面市の都市計画道路と整備の状況

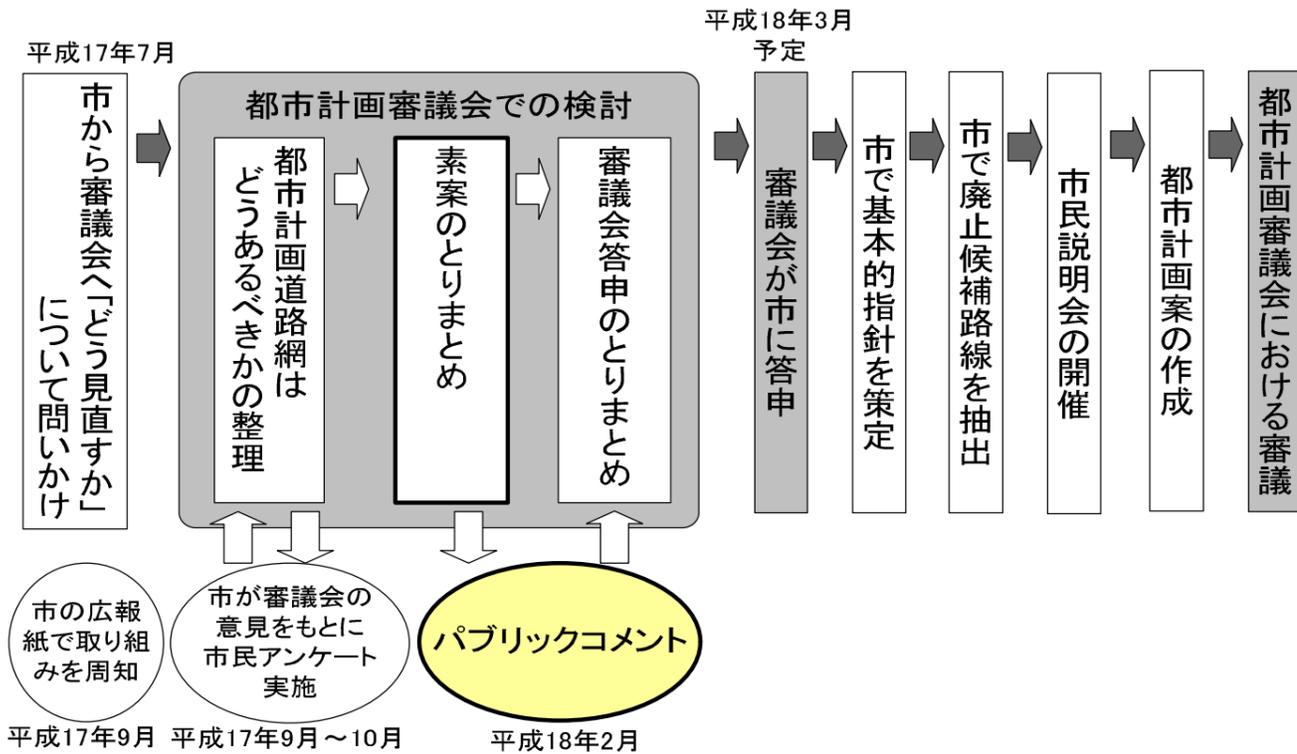
現在、市内には40路線、延長にして約78kmの都市計画道路があり、なかでも、市域交通の骨格になる幹線街路は、28路線、約58kmあります。
その約3分の1にあたる約21kmは整備が進んでいません。
さらに、そのうちの5路線は30年以上整備が進まないままになっています。



裏面もご覧下さい

取り組みの流れ

見直しの検討の中で、今回のパブリックコメントは次のように位置付けられます。



今回のパブリックコメントは、「素案」についてご意見を伺うものです。

パブリックコメントの結果を踏まえて審議会の考え方をとりまとめ、市に答申します。これをもとに最終的に市が基本的指針(見直し方法)を決めます。

平成18年度に市がこの基本的指針に沿って個々の都市計画道路の見直し作業を行い、廃止候補路線に関して市民説明会を開催する予定になっています。

平成17年9月に実施した市民アンケート調査について

市民アンケート調査では、都市計画道路を見直すにあたってどんな視点が重要かについて聞かせていただき、そこで重要性がたしかめられた内容を盛り込んで、今回の「素案」を作成しました。

また市民アンケート調査は、今回の見直しにとどまらず、交通や道路について広く示唆する結果となっていますので、審議会の考え方を市に提示する際には、配慮事項などの形でとりまとめて今後活かせるようにします。

(市民アンケート調査の結果については分析・とりまとめのうえ市のホームページで公開される予定です。)

「素案」の概要

大きくは下の流れに沿って都市計画道路の評価、検証を行い、「廃止候補路線」を抽出するよう考えています。

この流れの中で特にポイントとなる部分として、都市計画審議会では「都市計画道路網はどうあるべきか」を整理し、それをふまえて「どんな視点で評価するべきか」をまとめて「Step3〔3〕」に盛り込んでいます。

